

まちがど★
ネットワーク

お便りください

このコーナーは、皆さんの地域の問題をお届けしています。広報広聴課 ☎51-0123 内線2823へお便りください。

市長への
手紙から

電柱を少しづつ
なくしていただろう

今泉にお住まいの杉山泰子さんから、市長への手紙をいただきました。「林立する電柱を少しずつなくしてください。ほかの街にはない、富士山と共存できるまちづくりをしてほしいと思います」とのお便りです。

〈市長への手紙〉

後ろを振り返って富士山を見ようとすると、必ずその前に電柱の林立。富士山を、すっきりどこからでも見えるようにするため、電柱を少しづつなくし、高層ビルを制限し、ほかの街にはない富士山と共存できるまちづくりをしてほしいと思います。

高度成長で経済的には豊かになったので、次は自然を大切に、富士山を大切に考えます。電柱をなくせば、すっきりとした富士市ができ、美しい町並みに変わるのではないのでしょうか。



文化会館周辺の
地中化を始めます

〈市長の答え〉

豊かな自然に恵まれた富士市は、杉山さんのお手紙にもありましたように、富士山を抜きに考えることはできません。

市民の皆さんの価値観や考え方が「物から心へ」と変化した今日、自然環境との共存を図りながら、「ゆとり」と「潤い」のある都市空間を創造する施策が、今や重要な課題となっています。

市は、昨年度「富士市都市景観形成ガイドプラン」を作成しました。これに基づいてさまざまな試みを行います。電線の地中化もこれらの施策の一つです。平成五年度は、建設中の文化会館周辺の地中化を予定しています。

美しく個性的なまちづくりを、市民の皆さんと一緒に、少しずつ進めていきたいと考えています。

吉田久雄さん一家の

話してみましよう

ポルトガル語で

(5)

新米が出回る季節になりました。五回目の今月号は、農業にまつわる話のあれこれ。

ブラジルの米は陸稲です。カリフォルニア米と同じように、形は細長いのだそうです。日本の米は、甘みや粘り気がありますが、ブラジル米はパサパサといった感じ。お父さんの吉田久雄さんは「日本米はおいしい」と言いますが、娘さんたちは「どちらとも言えず、わかんない」と首をかしげます。

ブラジル米の収穫時期は、三

月から四月にかけて。すべてが機械化されていて、大型のコンバインで刈り取りから脱穀、袋詰めまでを済ませます。

また、農家にはコンクリートやレンガの頑丈な塀がめぐらされています。泥棒よけだそうです。何しろピストルや機関銃を持って武装して来るのだそうです。

吉田さんの親類でも、トラクタ一三台を持つていかれてしまいましたが、国は広いし、国境もすぐに越えられるのでなかなか捕まらないのだそうです。

※「r」の発音は、巻き舌にして震動させながら音を出します。

- ▶ 空 Ceu (セーウ)
- ▶ 米 Arroz (アロース)
- ▶ 土 Terra (テーラ)
- ▶ 車 Carro (カーロ)

